



TOGURI MUSEUM OF ART
戸栗美術館
2024年度

展覧会スケジュール

戸栗美術館は1987年、渋谷区松濤に開館しました。当館創設者戸栗亨が収集した東洋陶磁器を中心とする美術品の永久的な保存および公開を通じた、後世への文化遺産の伝承を目的として活動しています。主な所蔵品は、江戸時代に佐賀・有田にて日本初の国産磁器として誕生した伊万里焼、その技術を活用して徳川将軍家への献上品として創出された鍋島焼、そして、中国および朝鮮半島の陶磁器など。中でも江戸時代の伊万里焼の展開を通観できる体系的・網羅的な内容が特長です。年に4回の企画展を収蔵品主体で構成しています。



色絵 更紗文 皿
鍋島
江戸時代 (17世紀後半)
口径 15.9cm



色絵 龍鳳文 鉢
伊万里
江戸時代 (17世紀末~18世紀初)
口径 23.0cm

鍋島と金襴手 —繰り返しの美—展

2024年4月17日(水)~6月30日(日)

江戸時代に佐賀で作られた鍋島焼や金襴手様式の伊万里焼では、幾何学文や唐草文などの定番化や、図様の踏み返しが見られます。約80点の展出品から、繰り返しあらわれるデザインをお楽しみください。



染付 蝸唐草文 八角蓋物
伊万里
江戸時代 (19世紀)
通高 13.2cm

古伊万里から見る 江戸の食展

2024年7月11日(木)~9月29日(日)

現在は鑑賞陶磁として美術的な価値を見出されている日本初の国産磁器、伊万里焼。製作当時は実用品として主に上流階級に流通しました。江戸時代の食文化を通じて、実用品としての伊万里焼の魅力を探っていきます。



五彩 人物文 壺
景德鎮窯
明時代 (16世紀後半)
高 30.5cm

古陶磁にあらわれる 「人間模様」展

2024年10月10日(木)~12月29日(日)

古陶磁には歴史的背景から、あるいは伝統的図様や吉祥文様として、様々な人物があらわれています。明時代の中国・景德鎮窯や江戸時代の佐賀・有田の作例を中心に、約80点の古陶磁から古今東西の「人間模様」を覗いてみませんか。



色絵 葡萄文 瓜形壺
伊万里 (古九谷様式)
江戸時代 (17世紀中期)
高 21.2cm

千変万化 —革新期の古伊万里—

2025年1月15日(水)~3月30日(日)

伊万里焼の技術的な革新期にあたる17世紀中期。多彩な作風を展開し、創意工夫を凝らした作例が多く見られる時期です。今展では成形・絵付けなどの技法に注目しながら、その多様性をご紹介します。

開館時間：10:00~17:00 (入館受付は16:30まで)

金曜・土曜は10:00~20:00 (入館受付は19:30まで)

休館日：月曜・火曜 (祝日の場合は開館し、両日とも祝日の場合は翌平日休館)

展示替え期間

※ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-11-3

TEL 03-3465-0070

<http://www.toguri-museum.or.jp/>

当館ホームページ

[@toguri_museum](https://www.instagram.com/toguri_museum) [@toguri_museum](https://www.facebook.com/toguri_museum)

